

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	61
2. 大学等名	東京外国語大学
3. テーマ	V. 卒業時における質保証の取組の強化
4. 取組学部等名	言語文化学部、国際社会学部
5. 事業期間	平成28年度～令和元年度（4年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(365文字)
<p>東京外国語大学は、3ポリシーに基づき、世界の言語・文化・社会に関する教育を実践し、優秀な「多言語グローバル人材」を社会に送り出している。しかしながら、学生が学ぶ専門分野は多様であり、修得した言語能力にも差がある。また留学を含む学外での学修履歴は成績証明書などに十分に反映されていなかった。</p> <p>この状況を踏まえ、本事業では、言語力、専門力、行動・発信力のそれぞれに関し、卒業時の達成度を客観的な指標で示し、「多言語グローバル人材ディプロマ・サプリメント」として配付する。本ディプロマ・サプリメントメントは入学時から卒業時までの学生の履修カルテとなる「多言語グローバル人材ポートフォリオ」を利用して編集される。</p> <p>本事業の推進にあたっては、外部有識者からなる「TUFS教育改革会議」を発足させ、十分な意見聴取を行い、事業内容に反映させる。</p>	